

↓ 当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

#### 甲状腺関連検査5項目

- [27608] 甲状腺刺激ホルモン (TSH)《ECLIA》
- [27609] 遊離サイロキシン (FT<sub>4</sub>)《ECLIA》
- [27610] 遊離トリヨードサイロニン (FT<sub>3</sub>)《ECLIA》
- [27611] 総サイロキシン (T<sub>4</sub>)《ECLIA》
- [27612] トリヨードサイロニン (T<sub>3</sub>)《ECLIA》

※当該検査項目の受託開始に併せて、「甲状腺機能検査報告書」を別掲の通り改訂いたします。  
併せてご利用いただきますようお願いいたします。

### 受託開始日

- 令和2年4月1日(水)



# TSH・FT<sub>4</sub>・FT<sub>3</sub>・T<sub>4</sub>・T<sub>3</sub>《ECLIA》

甲状腺関連項目 (TSH・FT<sub>4</sub>・FT<sub>3</sub>・T<sub>4</sub>・T<sub>3</sub>) の5項目について、お客様からのご要望にお応えするため、甲状腺認定専門医施設での採用率の高いECLIA法試薬にて検査受託を開始いたします。なお、併せて「甲状腺機能検査報告書」を改訂いたします。当該検査報告書は、この度受託を開始するECLIA法とこれまでご利用のCLIA法項目をご依頼時にご報告いたします。

## ● ECLIA法の特徴

- より高感度、ワイドレンジな測定が可能になります。
- さまざまな工夫により非特異的な反応を軽減した試薬です。
- 甲状腺専門病院で多く採用されている測定法です。

また、現行法 (CLIA法) との相関が必要な場合は、弊社担当者までお申し付け下さい。

## 検査要項

項目コード	27608	27609	27610	27611	27612
検査項目名 <sup>*1</sup>	甲状腺刺激ホルモン (TSH) 《ECLIA》	遊離サイロキシン (FT <sub>4</sub> ) 《ECLIA》	遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> ) 《ECLIA》	総サイロキシン (T <sub>4</sub> ) 《ECLIA》	トリヨードサイロニン (T <sub>3</sub> ) 《ECLIA》
検体量	血清 0.4mL	血清 0.3mL	血清 0.3mL	血清 0.3mL	血清 0.3mL
保存方法	冷蔵 [容器番号：01番]				
検査方法	ECLIA				
基準値	0.500~5.00 (μIU/mL)	0.90~1.70 (ng/dL)	2.30~4.00 (pg/mL)	6.10~12.4 (μg/dL)	80~160 (ng/dL)
所要日数	2~3日				
検査実施料	104点 <sup>*2</sup>	127点 <sup>*2</sup>	127点 <sup>*2</sup>	111点	102点
判断料	144点 (生化学的検査 (Ⅱ) 判断料)				
報告下限	0.005 μIU/mL 未満	0.04 ng/dL 未満	0.40 pg/mL 未満	0.42 μg/dL 未満	20 ng/dL 未満
報告上限	500 μIU/mL 以上	7.77 ng/dL 以上	32.5 pg/mL 以上	24.8 μg/dL 以上	651 ng/dL 以上
報告桁数	小数3位、有効3桁	小数2位、有効3桁	小数2位、有効3桁	小数2位、有効3桁	整数、有効3桁
備考	<sup>*1</sup> 現行法 (CLIA) との相関資料が必要な場合は、弊社担当員までお申し付け下さい。 <sup>*2</sup> 診療報酬改定により、4月1日から実施料が改定されます。				

## 参考文献

内田恵理香 他, 医学と薬学 74 (8) : 923-931, 2017.

# 「甲状腺関連検査」項目一覧

甲状腺関連検査の充実を図るため、従来のCLIA法試薬と併せてECLIA法試薬での検査受託を開始いたします。これにより、下記の甲状腺関連検査の受託が可能となりますのでご利用下さい。

また、令和2年4月1日以降、総合検査依頼書およびメディエンスセットにて甲状腺関連項目（TSH・FT<sub>4</sub>・FT<sub>3</sub>・T<sub>4</sub>・T<sub>3</sub>）の5項目をご依頼される場合は、CLIA法にて検査を実施いたします。ECLIA法でのご依頼を希望される場合は、例）[27608] TSH《ECLIA》とご依頼下さい。なお、院内セットでのご依頼を希望される場合は、弊社担当員までお申し付け下さい。

検査項目名	検査要項	ECLIA法	(現) CLIA法
甲状腺刺激ホルモン (TSH)	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量/保存方法 基準値 単位 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	27608 TSH《ECLIA》 ECLIA法 血清 0.4mL/冷蔵 0.500~5.00 $\mu$ IU/mL $\mu$ IU/mL 0.005 $\mu$ IU/mL 未満 500 $\mu$ IU/mL 以上 小数3位、有効3桁 2~3日	02503 TSH CLIA法 血清 0.5mL/冷蔵 0.350~4.94 $\mu$ IU/mL 同左 0.003 $\mu$ IU/mL 未満 同左 同左 同左
遊離サイロキシン (FT <sub>4</sub> )	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量/保存方法 基準値 単位 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	27609 遊離サイロキシン (FT <sub>4</sub> )《ECLIA》 ECLIA法 血清 0.3mL/冷蔵 0.90~1.70 ng/dL ng/dL 0.04 ng/dL 未満 7.77 ng/dL 以上 小数2位、有効3桁 2~3日	00926 遊離サイロキシン (FT <sub>4</sub> ) CLIA法 血清 0.4mL/冷蔵 0.70~1.48 ng/dL 同左 0.40 ng/dL 未満 5.00 ng/dL 以上 同左 同左
遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> )	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量/保存方法 基準値 単位 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	27610 遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> )《ECLIA》 ECLIA法 血清 0.3mL/冷蔵 2.30~4.00 pg/mL pg/mL 0.40 pg/mL 未満 32.5 pg/mL 以上 小数2位、有効3桁 2~3日	01145 遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> ) CLIA法 血清 0.4mL/冷蔵 1.88~3.18 pg/mL 同左 1.50 pg/mL 未満 20.0 pg/mL 以上 同左 同左
総サイロキシン (T <sub>4</sub> )	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量/保存方法 基準値 単位 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	27611 総サイロキシン (T <sub>4</sub> )《ECLIA》 ECLIA法 血清 0.3mL/冷蔵 6.10~12.4 $\mu$ g/dL $\mu$ g/dL 0.42 $\mu$ g/dL 未満 24.8 $\mu$ g/dL 以上 小数2位、有効3桁 2~3日	00922 総サイロキシン (T <sub>4</sub> ) CLIA法 血清 0.4mL/冷蔵 4.87~11.72 $\mu$ g/dL 同左 3.00 $\mu$ g/dL 未満 24.00 $\mu$ g/dL 以上 小数2位、有効4桁 同左
トリヨードサイロニン (T <sub>3</sub> )	項目コード 検査項目名 検査方法 検体量/保存方法 基準値 単位 報告下限 報告上限 報告桁数 所要日数	27612 トリヨードサイロニン (T <sub>3</sub> )《ECLIA》 ECLIA法 血清 0.3mL/冷蔵 80~160 ng/dL ng/dL 20 ng/dL 未満 651 ng/dL 以上 整数、有効3桁 2~3日	00923 トリヨードサイロニン (T <sub>3</sub> ) CLIA法 血清 0.4mL/冷蔵 64~152 ng/dL 同左 40 ng/dL 未満 600 ng/dL 以上 同左 同左

## 【依頼時の留意事項】

従来のCLIA法とECLIA法では上記の通り基準値に差異がございますので、ECLIA法をご依頼される際は、必ず項目名称の後に検査法 (ECLIA) をご記入下さい。依頼項目に間違いが無きようご注意ください。

